

あらゆるものの「好み」について長期的に調査し、今後の生活者の動向を捉える調査データベースです。

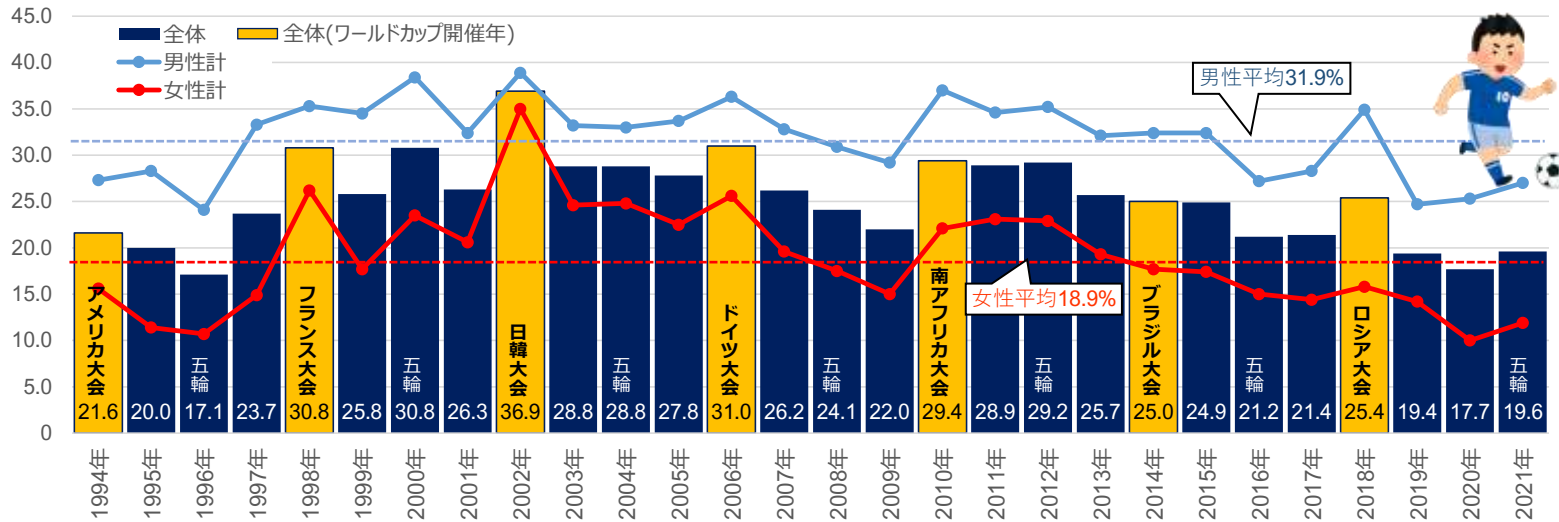
FIFAワールドカップカタール大会始まる！観戦機運はいかに？

4年に1度のサッカーの祭典、FIFAワールドカップが始まりました。日本代表はグループリーグ突破に向け正念場！寝不足の方も多いのでは？今回は総合嗜好調査1994年から2021年にお聞きした「見たいスポーツ競技会」の中から「ワールドカップ」への回答の変遷をお伝えします。



【見たいスポーツ競技会】

次のスポーツ競技会の中で実際に見に行きたいもの、あるいはテレビなどでごらんになりたいものはどれでしょうか。（「ワールドカップ」と回答・％） ※ワールドカップ本大会の開催月は、通常6～7月



【TOPIC】

- ・1994年アメリカ大会
アジア最終予選「ドーハの悲劇」
- ・1998年フランス大会
ワールドカップ初出場
直前に三浦知良らがメンバー外に
- ・2002年日韓大会
W杯初勝利を上げ、予選リーグ初突破
日本×ロシア戦視聴率66.1%
- ・2006年ドイツ大会
ブラジルに先制するも逆転負け
大会後、中田英寿が引退表明
- ・2010年南アフリカ大会
オシム監督急病、岡田監督W杯指揮
ベスト16でパラグアイにPK負け
- ・2014年ブラジル大会
本田、長友、香川ら海外組が活躍
ザックジャパン、勝ち点1で敗退
- ・2018年ロシア大会
W杯出場決定後に西野監督へ交代
ベスト16でベルギーに大逆転負け

1994年アメリカ大会から昨年調査までの「ワールドカップを見たい」との回答を時系列でまとめました。

全体では、ブラジル大会のあった2014年を除き、ワールドカップが開催された年に「ワールドカップを見たい」の回答が盛り上がる傾向が見られます。

男女で比較すると、女性に比べ男性で「ワールドカップを見たい」意向が強く、平均では男女で10%強の差が開いています。2002年日韓大会の際には特に女性が男性に迫るほど高くなっています。男性はおおよそ25～40%の間で推移しているものの2019年に大きく落ち、以降平均を下回っています。女性は2011年を境に右下がり傾向です。しかしながら2021年調査では男女ともやや上がっており、今回のワールドカップに向けて機運が上がりつつある様子も見られます。

果たして今年の調査結果がどうなるか、楽しみです。

データ元：TBS 総合嗜好調査 1994年～2021年 10月調査 配布留置自記式 東京地域：約1000名、阪神地区：約500名 13-59歳男女
TBS 総合嗜好調査概要 <https://www.jds.ne.jp/database02p/>